

うまくいかないことに会ったとき、子どもたちは本当にいろいろな表情を見せます。悔しそうに眉を寄せる子、静かに考え込む子、もう一度やってみようと動き出す子。その姿の一つひとつに、成長への大切な一歩が隠れています。失敗やつまずきは、誰にでもあることです。でも、そのときに「どうせ無理」とあきらめてしまうか「もう一回やってみよう」と思えるかで、その後の成長が大きく変わります。たとえ小さなことでも、自分で考えてもう一度挑戦してみる経験は子どもの心を強くしていきます。

教室の中で、友達に励まされながらがんばる子の姿をよく見かけます。うまくいかない友達に「大丈夫、できるよ」と声をかける子。その一言が、挑戦する勇気を生み出します。子ども同士のやりとりの中に、たくさんの学びと支え合いがあるのです。努力とは、誰かに見せるためのものではなく、自分の中で少しずつ積み重ねていくものです。すぐに結果が出なくても、その時間がきっと次の自信につながっていきます。できるようになったときの笑顔は、何よりも輝いています。これからも、子どもたちが失敗を恐れずに挑戦し「やってみよう！」という気持ちを大切にできる学校でありたいと思います。一人ひとりの小さな努力が集まって、大きな成長へとつながっていく——そんな毎日を、みんなで育んでいきたいと思います。

児童集会

12/5

全校でなかよし活動を行いました。ねらいは「みんなで仲良く楽しく遊び、異学年との交流を深めること」。さらに、班の仲間と協力し合い、応援し合うことで、宝っ子の絆を強めることを目的としました。

内容は「悪者からサンタさんとプレゼントを取り返せ！」という物語に沿って進行しました。各なかよし班が5つのミッションに挑戦しました。

ミッション1「ジェスチャー伝言ゲーム」では、体全体を使ってお題を伝え合い、笑い拍手があふれました。

ミッション2「誕生日並び順ゲーム」では、言葉を使わずジェスチャーだけで誕生日順に並び工夫が見られ、班ごとの協調が光りました。

ミッション3「暗号解きゲーム」では、2分以内に暗号を解くため、班の仲間が知恵を出し合い、ひらめ

いた瞬間に歓声が上がりました。

ミッション4「クリスマス関連暗記ゲーム」では、短時間でスライドの内容を覚え、順番に発表する姿に集中力とチームワークが感じられました。

最後のミッション5「間違い探し」では、全員が画面を食い入るように見つめ、違いを見つけるたびに喜びの声があがりました。

高学年が低学年を支え、低学年も懸命に参加する姿が印象的でした。学年をこえた交流を通して、思いやりや協力する心が育まれました。活動後には「みんなでできて楽しかった」といった感想が聞かれ、笑顔あふれる一日となりました。サンタさんを救う物語のように、子どもたちは力を合わせて“仲間の大切さ”を実感する時間となりました。



避難訓練

12/4

家庭科室からの出火を想定した避難訓練を行いました。児童たちは先生の指示をよく聞き、落ち着いて素早く避難することができました。

火災時に大切な「命を守る行動」について改めて確認し、安全意識を高める機会となりました。

